

30年くらい前、友達のお母さんが機織りはたおやってたの。家でパタパタやってたのを

「ちよつとやってみるか？」

で、やらせてもらって。楽しかったよね。

ここに来る人もみんな同じだね。

自分の手で作ることが大好き。

いらぬ布が新しい命になっていくから。

私にとって機織りは、生活そのもの

趣味で始めたことが生活になっちゃた。

71才女性

女性は21年前から大井川川越遺跡の札場で「機織り体験」の講師をしています。布が貴重だった江戸時代中期以降、着古した着物や布を再生する機織り(さき織り)は、当時の日本の生活そのものでした。楽しくて始めた機織りは女性にとっても生活そのものになったそうです。ぜひ機織り体験にいらしてください。